

事務事業名	八田ふれあい図書館維持管理事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12431				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	市立図書館	課長名	滝沢 美保				
			所属担当	八田ふれあい図書館	担当者名	保坂なおみ				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 10	項 04	目 04	細目 020	細々目 04
政策	22	生涯学習ネットワークの整備充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	35	生涯学習システムの推進								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	図書館法・南アルプス市立図書館条例						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 八田ふれあい図書館の施設及び備品の適切な維持管理に努め、市民が安全で快適に利用できる環境を提供する。 ・施設及び備品の安全点検 ・施設内の環境美化		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
			項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
			消耗品費		16		リース料		5	
			修繕料		100		自動車重量税		26	
			手数料		20		自動車保険料		28	
						計		195		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない									
26年度活動内容	施設及び備品の安全点検 施設内の清掃	⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア点検回数</td><td>回数</td></tr> <tr><td>イ清掃実施回数</td><td>回数</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア点検回数	回数	イ清掃実施回数	回数	ウ	
名称	単位										
ア点検回数	回数										
イ清掃実施回数	回数										
ウ											
27年度活動予定	施設及び備品の安全点検 施設内の清掃										
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない									
図書館施設及び備品		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア図書館の延床面積</td><td>m²</td></tr> <tr><td>イ図書館備品数</td><td>点数</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア図書館の延床面積	m ²	イ図書館備品数	点数	ウ	
名称	単位										
ア図書館の延床面積	m ²										
イ図書館備品数	点数										
ウ											
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない									
図書館施設が利用者にとって安全で快適な空間となる。		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア開館日数</td><td>日数</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア開館日数	日数	イ		ウ	
名称	単位										
ア開館日数	日数										
イ											
ウ											
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない									
市民が図書館を快適に利用することができる。		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア図書館施設利用者数(来館のみを除く)</td><td>人数</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア図書館施設利用者数(来館のみを除く)	人数	イ			
名称	単位										
ア図書館施設利用者数(来館のみを除く)	人数										
イ											

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	108	60	195	71	195	71		
		事業費計(A)	千円	108	60	195	71	195	71	0	
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1			
		延べ業務時間	時間	156	156	156	156	156			
		人件費計(B)	千円	710	710	710	710	710	0	0	
		(A)+(B)	千円	818	770	905	781	905	71	0	
活動指標	ア	回数		12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0		
	イ	回数		297.0	297.0	297.0	297.0	297.0	297.0		
対象指標	ア	m ²		598.0	598.0	664.8	664.8	664.8	664.8		
	イ	点数		227.0	227.0	205.0	205.0	205.0	205.0		
成果指標	ア	日数		286.0	284.0	281.0	285.0	285.0	285.0		
	イ										
上位成果指標	ア	人数		15,674.0	14,891.0	15,338.0	15,798.0	16,272.0	16,760.0		
	イ										

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	八田村ふれあい生涯学習館の事業計画により、平成13年に八田高度農業情報センター内に八田村農業関連図書館・愛称「八田ふれあい図書館」として開館した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	合併により、多くの人に「八田ふれあい図書館」を知ってもらえるようになり、八田地区以外の利用者が増えた。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	広い空間で落ち着いて読書や調べものができる。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成20年5月、おはなし会を開催する部屋と、学習室として新しい部屋が確保できた。 平成25年6月、情報ネットワークシステムセンターの活用していないパソコン室を整備し、「おはなしのへや」として開設。それに伴い、図書館資料や用紙類などを利用しやすいように整理した。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	「おはなしのへや」の壁面掲示の工夫や幼児用雑誌等を配架など、親子でふれ合える場所としての活用を考えた。本の展示コーナーを増やし、利用者が手に取りやすい環境を工夫した。

事務事業名	八田ふれあい図書館維持管理事業	所属部	教育委員会	所属課	市立図書館
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 子どもから高齢者までの読書活動の支援と必要な資料や情報を提供する施設として必要である。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 図書館は複合施設で「ふれあい情報館」は指定管理者制度が導入されて民間が管理している。図書館運営事業と関わるので、図書館が利用者にとって安全で快適な空間となるためには、図書館を運営している市の管理が妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 利用者が落ち着いて利用できる地域館としての機能があり、維持・継続していくことは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 より多くの市民に図書館を知ってもらい利用してもらうためには、参加してみたいような魅力ある催しを企画すること、図書館PRの強化を行っていく。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 歩いていける地域の図書館として、乳幼児と保護者、保育所帰りの親子、高齢者などに多く利用されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 交通手段を持たない市民は図書館のサービスを受けられなくなり、学習や情報収集ができない。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 子どもや高齢者などが読書活動や生涯学習に必要な資料や情報収集ができなくなる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 図書館を維持し、管理していくために必要最小限の事業費である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 利用者に快適に図書館を利用してもらうためには、これ以上の人件費の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 子どもから高齢者まで、だれでも利用できる施設である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	「おはなしの部屋」を整備した。 ガラスには「おはなしのへや」と大きく貼りだし、花などをあしらひ来入る人の目を引くようにした。 図書館東側のガラス戸にも「はったとしょかん」と貼りだし、駐車場にある「お知らせ板」も美しく掲示。 書架の転等防止対策や、過密に本を置く事を減らし、図書館入り口を今以上に利用する事も検討していく。
② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ①開架書架の配置や資料の展示の仕方を工夫し、開架スペースを有効に活用する。 ②閉架書庫を整理し、有効活用を図る。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ①利用者が利用しやすいように、また本を手に取りやすいように、書架の配置や展示の仕方を工夫していく。 ②閉架書庫を可動式にする。基準を設けて本を残して行く作業を行っていく。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度 成果優先度評価結果 ⑫ コスト削減優先度評価結果 ⑥																					